やう日ゆゑ一父子の道の深き皆家人なり乳母なりなどの
智恵を出るハ我若年の時と思ひ合せ考へるに一事三命を兼
ねる如長さ七一方の去れとなりしかもしるべの廣き格ふと思
ふ年の考ハきはめて智恵の分ぬとのこと思ひ家ふ不思議
う不思議と思ひ重者ともけ事なさぬるハ強りけ強をかさぬ
ハ親愛せしてあれの事をもこと別を云一四人ふ分まこと
勤る者ハ改易をかれ分る程ふ法人郷こうとや婚ふ事云
法法をかれ分ハ人くいたるまこと恢ひてこてをも繁昌
一を家も繁んふ四きん三命ふ分一まこ人の美恢の程をハ
繁昌をへき程をしまたふ分るまこ人ハ親の法ふ分者ふ
成分有ふきを子細ハ春日大明神ハ後条の元祖なりけ故ふ
春日の神ふ近衛殿の恩を春日の明神ふまいらせをふ
為氏の末を家和家を以裏御ちりけ分近衛殿ふ分ちり恩と
なるハ上代の事也今世の私恩をかれ分をかれ分
を神前ふ備へ清酒をつきかれハをかるけ以ふ
近衛殿世を出世なりとこと云ふ日地ふ分をかれ事也とて
涙をこぼさまこたりを也乞春日の明神をふ藤ふ成有程なる
神恵なり事三命ふ こうてふ
子孫養育の事ハ男女小有を分重人を以俗一和ふ
一入悔怨ふ法法をかれ法ふ法るも方程ふ人法若き者ふ
いふ分をよ父子の中睦しかるハ人倫第一の儀事也大小上下
とも以上の大事ハなりをさまたこ三命ふ仕重ものを家恵と法

らて安楽のこゝろ[illegible]若殿様の御意[illegible]中間ハ大殿様
の御意[illegible]心入[illegible]三帝之義文[illegible]者を[illegible]
[illegible]道理[illegible]法花帝[illegible]親子の間ハ[illegible]
悪事[illegible]ハ面後[illegible]家[illegible]
家老共[illegible]ハ[illegible]父子[illegible]
[illegible]ハ[illegible]三帝ハ[illegible]人[illegible]
[illegible]家人[illegible]ハ[illegible]心を[illegible]
[illegible]心[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]若殿様[illegible]
[illegible]法花帝[illegible]ハ[illegible]
不[illegible]

又ハ若ハ若殿様ハ[illegible]法花帝[illegible]
大小[illegible]分を[illegible]一日暮[illegible]又法花帝
の三帝[illegible]ハ大殿様ハ[illegible]
不[illegible]法花帝[illegible]
[illegible]
[illegible]

の者共大小とて[illegible]をつくさゆるやうなる人物もちゝ亂きび
法の人の心皆入目ゆゑて家中をくさやうをけ時分悪の事
あり[illegible]家の御元をとんとて清廉なるの和の者共屋敷をも
[illegible]しとをんは事に法度命元て後細々はなて強ん法御書方
[illegible]今も生事をかりいもやぐ悪多もう所出るを仕紙を完有て
[illegible]入る者なりとも者者ふくるう者を[illegible]法ふ法ふ[illegible]へ
[illegible]し右法法者悪有[illegible]ものは加も者なるもの そ
[illegible]法度命ゆくさゆゑをそのハうに[illegible]分事一世の
[illegible]の 上[illegible]て法度を流さるの[illegible]
[illegible]の[illegible]法度[illegible]

一又 上[illegible]報恩とハ善悪の[illegible]て古[illegible]の[illegible]人
[illegible]ハ必[illegible]又[illegible]
[illegible]の人[illegible]を[illegible]時ハ[illegible]
報[illegible]の[illegible]法[illegible]ハ必[illegible]人
法[illegible]時ハ[illegible]法[illegible]
[illegible]を[illegible]家[illegible]を[illegible]法[illegible]ハその
[illegible]家を元一[illegible]を[illegible]一門一[illegible]
人[illegible]二十九代[illegible]天[illegible]の[illegible]食ハ天下の和也[illegible]
[illegible]育[illegible]飢を療[illegible]白[illegible]
[illegible]人[illegible]大[illegible]命[illegible]国[illegible]金を[illegible]粮を[illegible]
[illegible]不[illegible]の[illegible]人氏の[illegible]

人を利する者多く天地小幸し人を害する者ハ天地を痛
とゝ不見天のむくゆるなり又春秋とゝふ書ハ國家の政を
なる時ハ日蝕月蝕の災あるゝ政を司る人民を害する時ハ蝕の
災あるきと有て板又此書に對していたゝく所有る
見をうゝむる事なりまこと實ハ天地人人
を害する民の害者と為て私欲有時ハ天地ハ省て天地
の大欲を必見を立て人ハ万物の靈にして万物を
隔もてる生ありて皆天地の子なり親ハ我子と何ぞ生
を親を者と何ぞらんや板ハ天の子をてむるものをは
天地必見を悔ミ一の子なり人間の生命を福の福りハ
ありても生まれる分ハうゝ人を人をてむる時ハ生を痛る

人を必天地痛ミを知て殺し殺生修法きう法ける事の八人間
の本意をもてなる四大多言信ハ井意ハ別有なりハ法
同一人間を法の板ハ知りハ少家を破るものをきてきて
殺育て学ハ殺生を行ふなきて上板憲政の子殺生
の事を定て学及ふんそ此の災殺ハ知りきて子を
そぶ法なるなきまても事殺ハ別又血産の小蟲を好る報
ふまて一人の長ハ慈悲なり慈悲有ものハ命なり生有
必出るものを慈悲ハ人ハ慈悲ハ人ハ慈悲ハ人ハ慈悲ハ人ハ慈悲
慈悲ハ人ハ慈悲ハ人ハ慈悲ハ人ハ慈悲ハ人ハ慈悲ハ人ハ慈悲
うゝる事なりまこと家人ハ信ふて人の中を考こなふものを
何事も異不学て人ハ学ハ人ハ学ハ人ハ学ハ

[illegible]

[illegible]

一又[illegible]

[illegible]

[illegible]

想して如何なる深き考ありてこの用ゐ方をなすや不審なる事なれども[illegible]きとは云ひぬべきものなれば者は[illegible]人の心を入れ[illegible]を[illegible]伝の家老なる人の元来[illegible]於て[illegible]ぬるは[illegible]家も元来[illegible]ぬるは[illegible]家の[illegible]なる[illegible]人を[illegible]の[illegible]の秘を[illegible]と[illegible]士の風伝[illegible]者[illegible]なる[illegible]伝の加法[illegible]者も有るべきなり想て人若き府は無来ゆゑ[illegible]人の心も有るべきなり家裏ゆゑ府はたゝ[illegible]も食して不[illegible]ひ裏は世[illegible]出ばと[illegible]伝の風伝[illegible]ぬるべきなり彼[illegible]命[illegible]の者者[illegible]侍の

[illegible]を[illegible]ゆゑ[illegible]家[illegible]の[illegible]武運[illegible]ゆゑ[illegible]て[illegible]
[illegible]人[illegible]府は[illegible]人[illegible]の家[illegible]を[illegible]動[illegible]の秘を[illegible]て
武[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]人[illegible]
[illegible]は父[illegible]家老は[illegible]
は武道[illegible]者[illegible]者[illegible]
たゝべ武士の役[illegible]を[illegible]の加[illegible]
[illegible]の[illegible]人[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の外

の事こそ数奇も深く思ひ入れもあるべき家柄なれども
米を食ひ肉を食ふこそ武家の法なれども孔孟の
道ふかき事なれども命を惜しみ栄耀を動
事を思ひ立つ時は大方ふかきものにてはなけれ
ども命惜しむものの又行く有や南蛮ふるはやもく
なりぬべし謀をめぐらしたる人物にてもかき事なれば
の事を先命を捨てるものなるべし結構よけれ共
天下の政をもよたくはけ一万を国と人をたとし
ても耳目長くふるを結構結士法人をもて見る事なれば
目前事を耳かぐ事なれば長味ふかく行はるる歩みた
ふ所を捨てるを惜しむふかは服ハ役ふ不立耳ふ行ふハ
ふハいかもて成るふハいかもてなれハ誰ふ見を捨人や武家
ハ法孔孟ふ武道を捨ひて用ふハけんをけ理を考ふまして
武家ふ武をとれ捨ふ事ふ長ふて孔孟を捨ハ亦別の
武道の事人ふ天道ふ天下国家の概柄をあくまふ孔孟を
家ハ治ふて武士ふの結構武道を捨ふ和歌ふ
氏を考ふるの有ふハ芸を以て用ふ天下を考ふの役ふ
さきハ人老ぬ事ハふもうふ力考脇ふ人も弱ふ
用ふ事ふ礼を以て事を孔ふ礼事庵を有ふ孔ふ
捨ふ事ふ家も考ふ事ふ立君の用ふ立べき
長ふ人を捨ふ悪人を捨ふやうふ家老ハ家の年
寄ふ以ふ孔ふ捨ふ孔ふ法年の事ふ

主家破亡ニ及ハ今川の三浦左馬介なる者出て修
理亮家養へ給人の男素姓なけれ共家の者も知
ラズ人家治ラズして乙ヶ島の郷に病者ハ武道を嫌ひ
軍役の勤も無之一年以前自分の家ふにまく
武勇を有女童の雷の附事ふとい地震なる附百姓共
いかてこれを対しても勝まて驚動
とも上一言をもいハ事を沙汰仕り申ス
者ハ怪異者ナ又古狐の者ハ南無阿弥陀の未と心を有よ
老人の男ハ業を用奏をもへ共ふ子を名付ル
狐ふ人法よ武左の神を祭へ狐ふ業怪異ナ
日と法士の祈のさ事狐ふ方ひ雷業をいはれふ
法ニの人魂をさ重ふ狐ふ出狐ふ仕業をさ者ニ
人ふ魂ふのこ有て出ふ出ふ附ハ狐の者ふ法ふ人の位
知勝ふ者ふ祀世ふ六ヶ敷ハ法世の仕業ニ祈ふ家の事
ふ附ハ大狐ふ大将の器量ふ人ふ我人の
一狐ふ法人を祭ふ静謐の附ハ家中法ふ狐ふ
刑ふ骨ふ者ふ事有ハ法人の人業願ふて詳先曲る
ふの法ふ法ふ武士ハ雷業の者ふ能を いふ雷のふ
を更ても人ふて業願狐祀をこのこ者法ふ附ふ
やふふの法ふ佐又西ハ人ふ先ふ怪異ふ者ニ
ふ仕又大ふ狐ふ法ふ遠敬ふふ狐ふ祀ふ狐ハ
多の人の中ふ者有ふ法ハ家老の役ふ

主君悪を能諫り君人ハ事を自ら主の事行君人と為
ル事ハ小人ハ役義ハ小人ハ役義ハ小人ハ役義

去年のことに品川宿の別荘に新たに来りて住居の
絹屋の者の宅に泊りて暫くの間
[illegible]
[illegible]
[illegible]